

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295400044		
法人名	医療法人社団健祉会		
事業所名	アポロン伊太		
所在地	静岡県島田市伊太2170-1		
自己評価作成日	平成28年2月10日	評価結果市町村受理日	平成28年5月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigvosyoCd=2295400044-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=">http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&amp;JigvosyoCd=2295400044-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	セリオコーポレーション有限公司 福祉第三者評価 調査事業部		
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町4-1		
訪問調査日	平成28年3月14日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・調理、洗濯たみ、部屋の掃除など家事を一緒に行うことで、家庭的な雰囲気を楽しんでいます。  
 ・皆で育てた野菜を使い、バランスのとれた食事を提供しております。  
 ・足腰の筋力低下防止のため、毎日歌に合わせて運動をしたり、施設の外に散歩にいき、地域の皆様とのふれあいを大事にしています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設して5年になる「利用者の介護度が進みにくいのが自慢」のホームである。「メリハリのある生活」を目標に、出来る人が出来る事をする生活に重きを置き、それぞれの役割や仕事を自らの生きがいにして暮らしている。実際に、職員に見守られながら食事の支度や食器洗いをする利用者は、慣れた手つきで生き活きとこなしていた。今後避けられない重度化に対しては、来年度中に医療連携を図り、利用者と家族の安心に繋げる予定である。又、同建物内にはサテライト介護老人保健施設やデイサービス・小規模多機能型居宅介護等が併設され、4施設合同で夏祭りや文化祭、防災訓練等が行われ、協力体制が構築されている。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・複合施設としての共通理念がありますが、グループホームとしての理念はありません ・毎年目標を設定し評価はしております	法人の理念を掲示し唱和している。ホームとしての年度目標と職員それぞれの個人目標を定め、半年ごとに振り返りを行い実践に努めている。今年度は職員全員でホーム独自の理念を作成する予定である。	ホームとして何を大事にしていくのか全職員で見つめ直し、方針を一致させるためにもホーム独自の理念を作成する事を期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・夏祭り、文化祭、ボランティアの受け入れ、地域での行事への参加をし、交流をもっています	併設されている4施設合同での夏祭りの他、地域の秋祭りや運動会・幼稚園への訪問等で地域住民と交流する機会を作っている。散歩時には顔なじみのご近所様と挨拶を交わし、時には野菜や花を頂く事もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・地域の方との触れ合いを大事にし、ボランティアの受け入れや、周辺を散歩する中で地域の方との交流を持つようにしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・家族会などを開き、家族の声を聞き取り、ケアにつなげています。又結果を運営推進会議などにて報告しております	参加者の都合もあり、現在は小規模多機能型居宅介護と合同で年4回行われ、その内1回はホームの家族会とも合同で行われている。法人関係者も多数出席し、サービス向上に活かしている。	家族参加型のイベントやサポーター養成講座・行事を活かす等工夫をして、年6回の運営推進会議開催の実現を望む。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・運営推進会議やケアマネ会議などにて声かけさせていただいています	長寿介護課や地域包括支援センターとは、機会を作り連絡を取り合っている。又、今年度他事業所のグループホームと情報交換をする場を作り、それぞれのホームが抱える課題に協力して取り組む関係が築かれた。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・外部研修講習後、全体研修にて報告し、周知、実践しています。 ・入口の施錠は利用者様の状態にて夜間のみ行う時有り。階段部は危険なため施錠しています	研修を重ね、全職員に浸透するように努めている。気になる言葉遣いはその場で職員同士で注意している。不穏になった利用者には、職員が寄り添い気分を落ち着かせている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・全体研修にて報告会を持ち、周知しています。 ・職員の体調管理にも気をかけております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体研修にて報告会を持ち、周知しています</li> <li>・ケアマネは研修に参加し、必要のある家人に説明をしております</li> </ul>		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書面、ケアマネによる説明にて理解、納得したうえで入所をいただいております</li> </ul>		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議にて、意見、要望をくみ取り、ケアプランに反映しております</li> <li>・家族会などで意見交換をしております</li> </ul>	<p>家族の来訪時や電話連絡で意見や要望の聴取をしている。家族が気軽に行きやすい雰囲気、言いにくい意見など何でも言える関係が窺えた。定期的を送付される法人やホームの新聞で活動報告がされている。</p>	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見箱を設置していますが、あまり活用されていないようです。</li> <li>・個々にて意見のある方は、その都度意見を聞くようにしています</li> </ul>	<p>職員間で日頃から意見を言いやすい雰囲気が作られている。月に1度の会議で意見や提案を聴取している他、個人面談も検討している。職員や家族が法人へ直接意見が伝えられる目安箱も設置している。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賞与時に自己評価、他者評価を行っております</li> </ul>		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修への参加</li> <li>・委員会への所属</li> </ul>		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同業者との交流の場が持っておりません</li> <li>・ケアマネに関してはケアマネットにて、交流を持ち意見交換をしております</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・訴える事が出来る方は聞き取りしているが、出来ない方については、会話の中で訴えを聞き取るようにしております ・ケースカンファレンスにて情報交換しております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・面会時などにコミュニケーションをとるようにしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・毎月のモニタリングを行い、変化に対応するようにしています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・家事を共に行うようにしております		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族との関係を大切にしつつ、皆で支え合うようにしております		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・入所が長くなるにつれ、面会が減ってきている。 ・買い物などで外出するようにしています。 ・行事への参加をお願いしています	家族と共に法事や墓参り・馴染みの美容院へ出掛ける利用者もいる。毎年押し花で作成した暑中見舞いや年賀状を家族や親戚に送り、関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・利用者同士のトラブルが無いように配慮しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・情報開示の要請があれば対応しています ・入院時など他事業所を利用するまでフォローしております ・相談があれば、対応させていただいております		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・認知症の方なので本人の意向が把握できない方が多い ・家族の意向が主になっています	昼食後の個別援助の時間などマンツーマンで会話する機会を利用し、思いの把握に努めている。帰宅願望から不穏になった利用者に対しては、言葉や人・場所を変えるなどして寄り添う介護を心掛けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ご家族の面会時に情報収集しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・アセスメント、モニタリングを行っている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・月1回ケースカンファレンスを開催し、検討を行っています。	ケアマネージャーが作成した独自のアセスメント表には、申し送りなどのすべての情報が記入されており、それを基本に介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・申し送り等にて情報共有しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・柔軟性を持って対応しておりますが、施設本位な面もあります		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・近くのスーパーなどに買い物に出かけたり、近隣を散歩し、地域の皆様との触れ合いを大切にしております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・家族との話し合いを密にしています。 ・往診時、主治医との情報交換や指示を受けられるようにしております。	以前からのかかりつけ医を継続している利用者やホームの協力医をかかりつけ医としている利用者など、本人や家族の希望で決めている。協力医による往診は月に1回対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	他の部署の看護師と連携、情報交換を取っております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・ケアマネが病院のソーシャルワーカーと連絡を取っております		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・医療連携を行う方針です。今後ターミナルケアを行うために家人と方向性を話し合っていく方針です。	ホームでの看取り経験はまだないが、看取りも受け入れる方針である。ターミナルケアの外部研修に参加し、全員に周知するなど前向きに取り組んでいる。急変時には1階の小規模多機能型ホームの看護師に相談している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・研修を行い、マニュアルに沿って対応できるようにしております		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・年2回の防災訓練を行っております ・マニュアル作成 ・運営推進会議にて地域の方に報告、協力をお願いしています	防災訓練は4施設合同で行ない、消防署の協力も得て年2回行っている。オール電化で、備蓄は5日分確保し、防災カーテンを備え付けている。災害時には地域の一時避難場所とする事を示し、協力体制を築く努力もしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入室の際は常に声かけノックをして入室させていただいております。</li> <li>・プライバシーに配慮をし、入り口にはのれんをかけております。</li> <li>・常に敬意を払って対応しております</li> </ul>	個人情報が漏れる事が無いように、記録類はすべてパソコンに入力している。「人格を尊重する事を忘れないように」という意味で、話しかける際は苗字を呼ぶよう統一している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴の際など衣類は自己にて準備して頂いています</li> <li>・希望や願いを常にお聞きするようしております</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活なので1日のプランがあるが、その都度声かけし、ゆっくり行うようにしております</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着替えは自己にて決めて頂いております</li> </ul>		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理、配膳、片付けは職員と一緒にしております</li> <li>・献立に希望を聞くようしております</li> </ul>	配膳や下膳・刻みなど一人ひとりが出来る事を行い、能力を発揮できる場面となっている。誕生会にはケーキを作ったり、頂き物のお芋をおやつにするなど、お楽しみの時間でもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のバランスを考えて、献立を考えています。全量摂取できるよう工夫をしています。</li> <li>・決まった時間に水分補給を行っています。また夏はいつでも飲めるようにポットを置いています。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔ケア毎食後行っていただいておりますが、口腔内の確認は出来ていません</li> <li>・義歯は毎晩洗浄行っております。</li> </ul>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・自立の方がほとんどです。本人の排泄パターンに任せております。失禁のある方は確認行っております	失禁のある利用者もリハビリパンツやパットで対応しているため、おむつの利用者はいない。パットを流してしまう利用者に対しては、その都度声掛けをすることで自立を継続している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・水分量の確認を行う ・やわらかく調理したり、食物繊維摂るような献立をたてています ・散歩、体操を行い身体を動かすようにしております		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・週3回の午前中の中の入浴を行っています。希望に沿う事は現在難しいですが湯温や、入浴時間は個々の希望に沿って行っております	1回ごとに湯を流し、全員さら湯で入浴している。沐浴剤を利用したり入浴後には自家製の美肌水で肌を整えるなど、心地よい入浴ができるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・なるべく日中は起きて頂いておりますが、希望があれば自室にて休んで頂けるよう支援しております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・薬の説明書を確認する。又解らない場合は看護師、薬剤師に確認しております。その都度状態を確認し、主治医に報告しております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・全ての生活歴を把握できていませんが、その都度家族に確認、アセスメントを行っております。 ・嗜好品については買い物できるようにしております		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・個々の希望に沿う事は出来ませんが、年間行事を立て、ドライブ、食事会などに出かけております。 ・天候に良い日は施設外を散歩しております	レクリエーション委員や行事委員を中心に外出計画を立てている。静岡空港見学後お寿司を食べて帰宅し、家族の協力を得てショッピングセンターへ買い物に行くなどを実施した。ホーム前の土手は、四季の花を楽しみながらの日常的な散歩コースとなっている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・ほとんどの方は預からせていただいております。希望がある場合はこちらで買って来たり、一緒に買い物に出かけたりします。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・希望があれば電話をかけられるよう支援しております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・各部屋の入口に暖簾をかけてプライバシーに配慮しております。 ・季節の花などで季節感を取り入れております	建物に沿ってぐると囲むように作られたベランダは、リハビリを兼ねたお散歩の場となっている。昼食後には居間の六角形のテーブルで展示作品を熱心に作っている利用者の姿があった。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・常に自由に行動できるようにしております。又、席の配置などにも配慮しております		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・本人、家族と相談し、危険の無いもの、なじみの物を持ち込んで頂いております ・自己にて作ったものなども自室に飾っていただいております	フローリングと畳風の部屋があり、本人の希望で畳風の床に布団を敷いて寝ている利用者もいる。テレビや筆筒なども自由に持ち込まれ、落ち着ける居室作りがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・自立を重視しておりますが、危険の無いよう、見守り出来る位置に職員がいるよう配慮しております。		